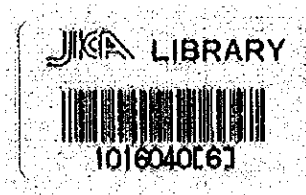


昭和52年度帰国研修員巡回指導

アフリカ郵政幹部電気通信幹部
巡回指導班報告書

40
77
70

国際協力事業団
研修事業部



国際協力事業団	
受入 月日 '84. 3. 22	400
登録No. 01352	77
	TAD

ま え が き

国際協力の一環として、郵政幹部セミナー及び電気通信幹部セミナーが開設されたのは、それぞれ1963年及び1965年であるが、その後、両セミナーは順調に推移し、1977年で、郵政幹部セミナーは第15回、電気通信幹部セミナーは第13回をむかえた。

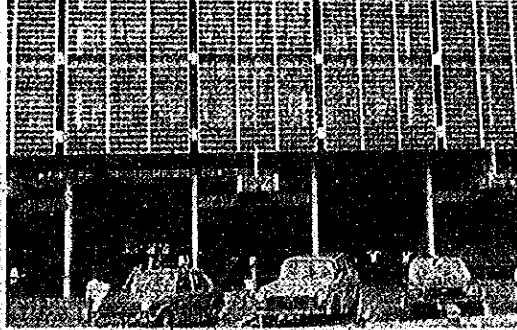
しかしながら、研修員が帰国後どのように活躍し、セミナーで得た知識がどのように役立っているか、セミナーに対し、どのような意見をもっているのか、等についての調査が不十分で、それらの点について把握したいというのが、かねてからの念願であった。今回、両セミナーの巡回指導を実施し、カーナ、ケニア及びエジプトの3か国を訪問して、上記の希望をほぼ達することができた。また、その間、多数の帰国研修員と面談する機会に恵まれ、かつ、関係当局の幹部と意見を交換し、相互の友好と親善を深めることができたことは、きわめて有意義であった。

本報告書は、今回の巡回指導の概要を紹介し、次回以降のセミナーの参考に資するものである。本報告書が、今後の国際協力及び両セミナーの発展にいくぶんなりとも役に立てば幸いである。

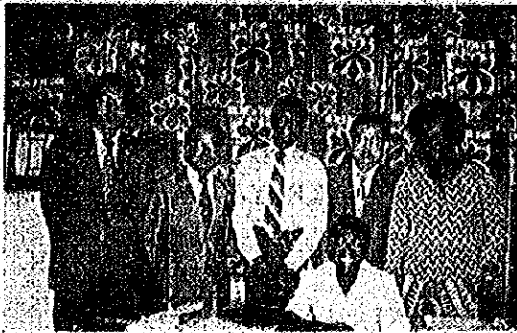
終わりに、巡回指導実施のため、御協力を賜わった、外務省、郵政省、その他の関係機関各位に深甚の謝意を表したい。

昭和52年10月

研 修 事 業 部



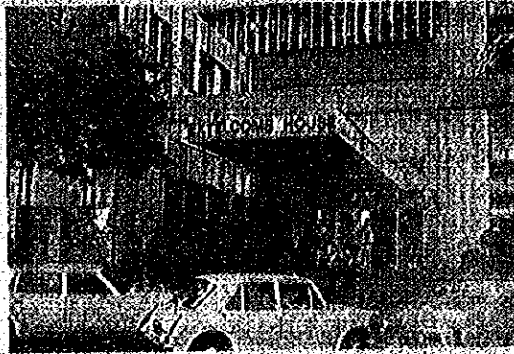
POSTS AND
TELECOMMUNICATIONS
CORPORATION (GHANA)



MINISTRY OF
ECONOMIC AND
PLANNING (GHANA)



POSTS AND
TELECOMMUNICATIONS
CORPORATION (GHANA)



EAST AFRICAN
EXTERNAL
TELECOMMUNICATIONS
LTD (KENYA)



同総裁と記念撮影 (KENYA)



POSTAL
ORGANIZATIONの
総裁と記念撮影 (EGYPT)



同局長らと記念撮影 (EGYPT)

目 次

I 巡回指導の概要

1. 派遣の目的	1
2. 派遣期間	1
3. 団員構成	1
4. 訪問先	1
5. 日 程	2
6. 調査方法	3
7. 巡回指導順路	4

II 調査結果の内容

1. ガーナ	5
2. ケニア	11
3. エジプト	19

参考資料

1. 帰国研修員等に対する調査票	27
2. 面会者リスト	29
3. エジプト一般事情	32

1 巡回指導の概要

派遣の目的

今回の巡回指導班は、現在継続して実施している郵政幹部セミナー及び電気通信幹部セミナーに参加した帰国研修員の所属機関及び関係機関を訪問し、現地での技術指導を行うとともに、わが国で実施した研修の成果を測定し、また、当該研修分野に係る当該国の技術的問題及びニーズを把握することにより、今後の両セミナーの向上改善に資することを目的とした。

派遣期間

昭和52年9月5日から昭和52年9月26日まで

団員構成

鈴木 勝三郎	郵政大臣官房国際協力課 第二国際協力係長
北原 福司	郵政省郵務局国際業務課 国際協力係長
柳橋 元	国際協力事業団研修事業部 管理課

訪問先

カーナ	在カーナ日本大使館 MINISTRY OF ECONOMIC AND PLANNING POSTS AND TELECOMMUNICATIONS CORPORATION
ケニヤ	在ケニヤ日本大使館及びJICA事務所 EAST AFRICAN EXTERNAL TELECOMMUNICATIONS LTD. CENTRAL TRAINING SCHOOL(K.P.T.) MINISTRY OF FINANCE AND ECONOMIC PLANNING KENYA POSTS AND TELECOMMUNICATIONS CORPORATION
エジプト	在エジプト日本大使館及びJICA事務所 MINISTRY OF FOREIGN AFFAIRS POSTAL ORGANIZATION TRAINING CENTER AND TRAFFIC CENTER

IN ALEXANDRIA
STATE TELECOMMUNICATION
ORGANIZATION

5. 日 程

月 日	曜日	国 名	訪 問 機 関	内 容
9 5	月			東京発 JL421 便
6	火			ロンドン発 GH707 便
7	水	ガ ー ナ		アクラ着 日本大使館書記官等 と日程打合せ
8	木	ク	<ul style="list-style-type: none"> ◦ 日本大使館 ◦ MINISTRY OF ECONOMIC AND PLANNING 	大使館表敬 筆頭次官補との要望聴取及び意見 交換
9	金	ク	◦ POSTS AND TELECOMMUNICATIONS CORPORATION	帰国研修員等との面談及び意見聴 取
10	土	ク		帰国研修員懇談会
11	日	ク		アクラ発 BT786 便
12	月	ケ ニ ヤ	◦ 日本大使館	ナイロビ着 日本大使館表敬及び 日程打合せ
13	火	ク	<ul style="list-style-type: none"> ◦ JICA 事務所 ◦ EAST AFRICAN EXTERNAL TELECOMMUNICATIONS LTD. 	N T T 専門家の状況説明及び意見 交換 総裁との要望聴取及び意見交換
14	水	ク	<ul style="list-style-type: none"> ◦ CENTRAL TRAINING SCHOOL ◦ MINISTRY OF FINANCE AND ECONOMIC PLANNING 	校長等との意見交換及び施設見学 次官補との要望聴取及び意見交換
15	木	ク	◦ KENYA POSTS AND TELECOMMUNICATIONS CORPORATION	帰国研修員との面談及び要望聴取
16	金	ク		帰国研修員懇談会

月日	曜日	国名	訪問機関	内容
9 17	土	ケニア		帰国研修員からの資料収集及びその分析
18	日	〃		休日
19	月	エジプト	〇 JIOA 事務所	ナイロビ発 KL566 カイロ着 JIOA 事務所長と日程打合せ
20	火	〃	〇 日本大使館 〇 MINISTRY OF FOREIGN AFFAIRS 〇 POSTAL ORGANIZATION	大使館表敬 局次長等との意見交換及び要望聴取 総裁表敬及び意見交換
21	水	〃	〇 POSTAL ORGANIZATION	帰国研修員等との意見交換、要望聴取及び討論会
22	木	〃	〇 STATE TELECOMMUNICATION ORGANIZATION	参事官との要望聴取及び意見交換
23	金	〃	〇 TRAINING CENTER AND TRAFFIC CENTER IN ALEX	カイロ→アレクサンドリア(鉄道) 局長表敬及び施設見学
24	土	〃		アレクサンドリア→カイロ(鉄道) カイロ発 JL474
26	月			東京着

6. 調査方法

調査効率を高めるため、次の項目を英文で述べた調査票を用意し、できれば、出発前に訪問国の関係機関に送付しようとした。

しかし、時間の余裕がなく、事前送付は出来なかった。

(1) 各関係機関幹部に対する調査票

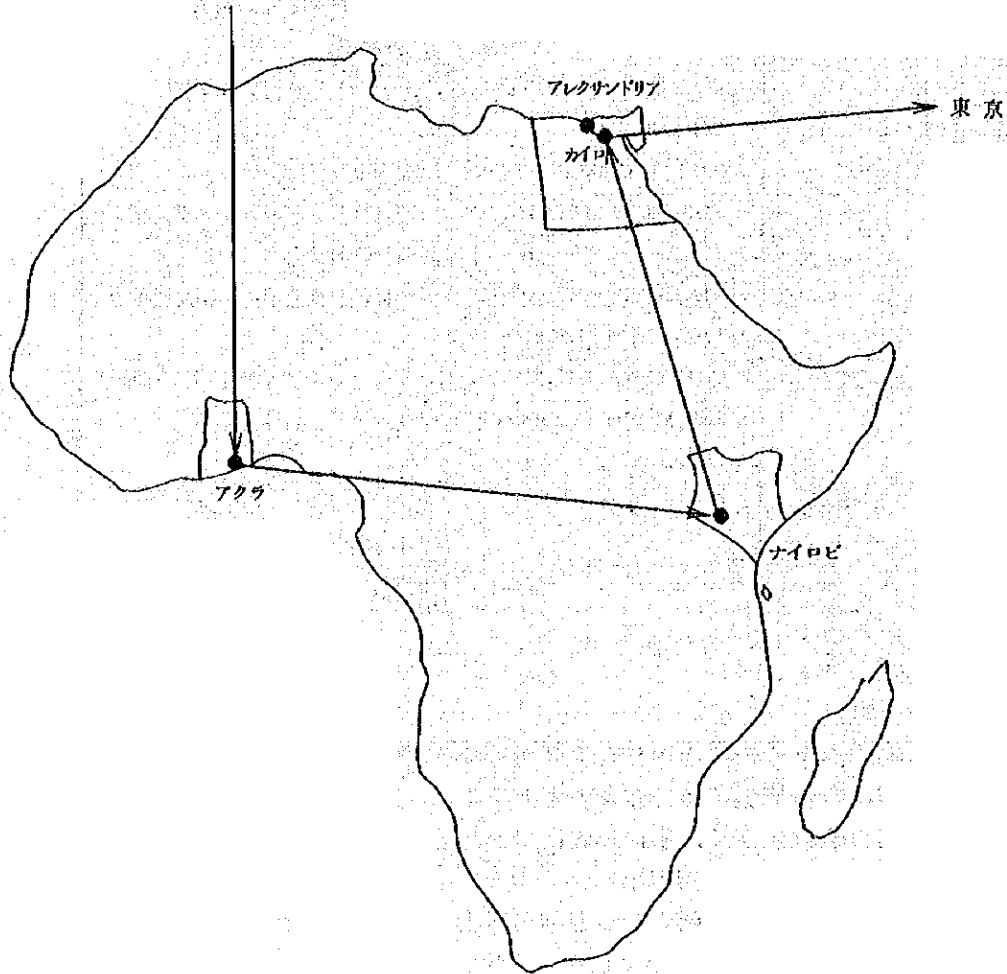
- ① 日本のセミナーが貴機関からの参加者に与えた影響についてのコメント
- ② 外国のセミナーとの比較
- ③ セミナーに対するニーズ
- ④ 参加者を選ぶ基準及び審査の方法
- ⑤ セミナーについての問題点

(2) 帰国研修員に対する調査票

- ① 日本のセミナーに対するコメント
- ② 仕事の上で当面する問題
- ③ 外国のセミナーとの比較

④ 日本政府に対する要望事項

7. 巡回指導順序



II 調査結果の内容

1. ガーナ

(1) 日本大使館

要望調書は、すでに本省に送付済みであり、郵政省関係の集団研修22コースのうち、13コースを要望しており、特に、次の4コースについて強い希望があった。

テレビ放送管理コース

テレビ技術コース

マイクロエープコース

電話網設計コース

(2) 経済企画省

Mr. J. O. Otsuroku : Asst. Economic Planning Officer

Mr. Osei Bobie : Principal Assistant Secretary

Mrs. P. Ayisi Okyere : Senior Economic Planning Officer

ア) 研修員の数をもっとふやして欲しい。

とくに中間技術者の研修が急務である。電話事情は全く悪く、そのため技術要員が必要なのである。

イ) 高級の技術者は、一応、足りている。

ウ) 研修期間は、3~4か月が望ましい。

これ以上、長期の場合、その国に居付いて、帰国しない者が出る。長期のアカデミー・コースも必要ない。

エ) 外国の研修とくらべてみると、どの国における研修もそれぞれ特徴があり、比較は困難である。

オ) 研修の evaluation について面白い例が有る。

カナダ及びアメリカの場合、現地大使館が、質問書を ex-participant に直接送付し、調査を行っている。

カ) 研修員を日本に送る場合の選考は、郵電省がやっており、経済企画省は、coordinate しているにすぎない。

キ) 研修員に与えられる certificate は、直接には昇進の対象とはならない。長期の研修で degree を与えられる場合には、昇進の対象となる。

(3) 郵電公社

Mr. Joseph Addo : Deputy Director General

(郵便担当副総裁)

ア) 日本の郵政幹部セミナーの参加者は、すべて、帰国後高い地位に昇進している。このことから、セミナーがどのような影響を与えているか説明できよう。

- イ) 日本の郵政幹部セミナーは、外国のセミナーより優れている。
- ウ) わが郵電公社は、今後とも、日本のセミナーを必要としている。
- エ) セミナー参加者の選考基準は、将来性のある者、及び当公社内において大きな影響力を有する者で、最上級の職員から選考される。

Mr. Peter Bawuah : Director of Engineering
(国内通信局長)

- ア) 日本の電気通信幹部セミナーは、見聞を広めるに役立っていると思う。技術面で新しい知識を得るのにはセミナーが良い。
 - イ) 費用を全部負担してくれるのは、他の国に例がない。
 - ウ) 参加者の選考基準は、最も研修効果をあげられると思う者を選び、対象としては、topのランクから逐次下位へ移している。多少、下位の者でも、まもなく上位に移る可能性のある者を出している。
 - エ) 日本のセミナーには、特別な注文はないが、手続が遅いことは困る。ガーナ側で出張手続に5週間必要だ。したがって、3.5か月前に通知が欲しい。
- (4) 帰国研修員
次表のとおり。

ガーナ・郵便関係

No	氏名	研修年次	現職(カッコ内は研修時現職)	研修の効果	セミナーへの意見	その他
1	Mr. Joseph William Quashie	1968	Retired (Deputy Director of Posts and Accounting Services, Ministry of Posts and Telecommunications)	(退職)		
2	Mr. William David Kwaku Kesse Hodgson	1970	地方郵便局長 (Regional Controller of Posts, Dept. of Posts and Telecommunications)	(地方郵便局長)		
3	Mr. Benjamin Asomani	1972	Retired (Chief Controller of Posts, Posts and Telecommunication Dept.)	(退職)		
4	Mr. Joseph Addo	1974	Deputy Director General (Chief Controller of Posts, Posts and Telecommunication Dept.)	セミナーは非常に有益だった。将来も、この種セミナーに当庁から参加者を送るよう勧告するつもりだ。	外国のセミナーにくらべ、郵政幹部セミナーはプログラムが良い。日本の2週間セミナーは、実質的には、2週間以上の内容だった。	① 当庁は、現在輸送の問題をかかえている。新しい郵便自動車が必要だ。また、自動押印機も不足している。 ② 当庁に対するフェローシップの数をふやして欲しい。
5	Mr. Anthony Oppan Bentil	1976	Chief Controller of Posts, International Postal Services (Principal Controller of Posts in charge of International Mails and UPU Affairs)		① セミナーの大半は、教室外の活動。たとえば、エクスカージョン、郵便局見学、郵便機器メーカーの工場訪問にあてるべきだと思う。 ② 独特な集まりで、諸外国の高官と会い、意見の交換を可能としている。この点で外国のセミナーとくらべ優れている。	① セミナーに参加した職員で、在職中の者を対象として、日本の発展状況を知らしめるため、再度日本に招きたい。 ② セミナー参加者の名簿を作成し、現在、及び過去の参加者に配布すべきだ。

ガーナ・電気通信

No	氏名	研修年次	現職(カッコ内は研修時の現職)	研修の効果	セミナーへの意見	その他
1	Mr. Jacob Kobian Ackun	1965	Director of Engineering Ministry of Transports and Telecommunications (Regional Engineer)		① 技術的・行政的諸問題がよくわかって有益であった。 ② 2週間は短い。	① 交換, 伝送, 衛星通信の分野の研修を望む。 ② 協力の継続と拡張を望む。
2	Mr. Peter Tetteh Debrah	1970	Director General (Acting Engineer in Chief, P.T.T.)	(地方出張中)		
3	Mr. Cyrie Francis Nettery	1973	Deputy Director General Ministry of Communications (Deputy Engineer, in chief)	(休暇中)		
4	Mr. Alexander Lankwei Brightdavies	1975	Deputy Director of Engineering International Telecommunication Services, Posts and Telecommunications Corporation (Deputy Director of Operations)	意見交換の機会が与えられたことは、有益だった。	① 2週間の枠内でもっと十分な討論の時間が欲しい、内容が終わっていないのに、次のスケジュールに移るのは困る。 ② アフリカだけのセミナーの場合問題点が共通していて良い。全般的な運び方は、日本のセミナーが best である。	技術的問題点は多々ある。マイクロにおける fading の問題, 電話交換における湿気の問題, overhead telephone における breakdown. これらに関する参考書を送ってくれ。

2. ケニア

(1) JICAケニア事務所

江崎所長及び岡田氏から現地事情等について詳しいオリエンテーションを受けた。研修員について得た情報を適記すれば次のとおりである。

ア) JICAケニア事務所では、研修員に対するオリエンテーションを実施しており、ことに、日本で支給するアロワンスについては、行き違いのないよう具体的に説明し、気候・生活環境についても、できるだけ詳しい説明を与えている。その他については、カイロビにある Japan Information Centre を紹介することになっている。

イ) 研修員の出発前に、最も多い質問は、「日本では英語が通じるだろうか」ということである。

ウ) 研修員の帰国後は、ほとんど例外なく日本びいきになって帰ってくる。

エ) 採否決定通知は、もっと早くして欲しい。2週間の short-notice では、必要な注射を受けさせるだけでも容易ではない。こちらでは、応募したら日本に行けると思っている。

「事務連絡」の形でも良いから、早く通知して欲しい。

江崎所長のはからいで、電気通信専門家、宮地、前田両氏(NTT)から詳細な現地事情を聴取する機会が与えられた。このうち、研修関係の情報は次のとおりである。

ア) ITUは教科書造りに全力をあげて来た。Code number を作成して、各専門家に割当てモジュール単位に Lesson-plan をたて、各テキストの教師用のマニュアルをつくった。

この方法は、カウンターパート養成に最も効果があがると思われた。

耳学問では、カウンターパートは育たないように思われる。

イ) ノールウェイの実例

specific area を設けて、研修員を1年、man-to-man で指導し、軌道に乗ると「ノールウェイJICA」から、あらためてケニアに指導班を派遣し、今後の協力ぶりについて打合せを行なう。これは外交的なものではなく、あくまでも設定した specific area に限定して、その範囲内で進めて行くやり方である。

また、研修員を選考する場合、候補者3人をケニア側で選び、日本人専門家がテストを実施して、1人を選出したことがある。

ウ) ある技術の導入過程で、counterpart にやらせると、いつまでたっても、出来上らないようだ。

専門家だけでやれば、1年でできるものが、counterpart にやらせると、5～6年かかることがある。

したがって、第一段階では、日本人だけでシステム造りを行ない、第二段階で、counterpart に implement させるのが良いのではないかと思う。

学園・研修センターの場合には counterpart 制度は効果があるかも知れないが、現業業務の場合は、効果はうすいのではないか。

(2) 大 蔵 省

Mr. G. M. Ndotto : Assistant Secretary in Charge of Financial and Technical Assistance from Japan

ア) B A P T の仕事のとときは、全然やっていたが、K P T になってからは、やることになるだろうと思う。

イ) あるプロジェクトの協力に際しては、technician の養成についても、package の一部として考えて、必ずとりあげて貰いたい。

(3) 郵 電 公 社

Mr. Zablon Mwakitale : Assistant Regional Director KPT

ア) 日本の郵政幹部セミナー参加者は、すべて、高度に機械化された日本の郵便事業に関する知識を持ち帰って来る。参加者は、いずれ、現段階における機械化に、これらの新しい知識が役立つものと思っているが、cost からみると、全部の機械化は、当公社に困難だと報告している。書留郵便物配達証作成機は、参加者に強い印象を与えている。

もし、日本政府が、試行ベースで、2台機械を与えてくれば、当公社業務に試行したいと思う。

イ) 外国のセミナーと比較して日本のセミナーは良く組織化されている。

ウ) ケニアは、日本のセミナーを必要としている。期間をもっと長くして欲しい。

エ) 参加者の選考に際しては、日本で学んだことの中から、ケニアにとってどの方式が良いかを判断できるような能力を持った幹部職員を選んでいる。郵便事業における先任順位及び経験に照らして選出する。

オ) 参加者は、日本のセミナーについて優れた報告書を提出している。

日本人のホスピタリティ及び深い配慮に賞讃の言葉を惜しまず、不平は何一つない。

Mr. H. Z. E. Ramogo : General Manager, East African External Telecom. Ltd.

Ramogo 総裁は、1965年の電気通信幹部セミナーの参加者である。

元参加者としての意見は、次項のとおりである。派遣先の機関の長としての意見を問うたところ、次のとおり答えた。

「電気通信の役割は重要だ。通信のあるところ平和ありと思う。10倍、100倍の人をセミナーに送りたい。」

(4) 帰国研修員

次表のとおり。

ケニア・郵便

No	氏名	研修年次	現職(カッコ内は研修時現職)	研修の効果	セミナーへの意見	その他
1	Mr. J. N. Kimeria	1968	Retired - Central Bank of Kenia (Senior Assistant Postal Controller, EAPT)	(退職)		
2	Mr. W. N. Gitau	1970	Managing Director KPT (Assistant Regional Director, EAPT)	(出張中)		
3	Mr. Peter Ndungu	1972	Retired (Regional Postal Controller)	(退職)		
4	Mr. Nedemiah Mutsalali Mudeshi	1974	Postal Controller KPT (Stamp Bureau Controller)	本セミナーは、極めて興味深いものであり、自己の任務を遂行するのに有益な講義と最新の知識を与えてくれた。	① 極わめて時間が正確に行なわれ、質問には適格に回答してくれるところに特徴がある。 ② 今後のセミナーには、郵趣活動を加えて欲しい。	将来KPTの幹部となる郵政監督官補をバイによって訓練して欲しい。従来この訓練は英国政府がやっていたが、まもなく打ちきられようとしている。
5	Mr. Zoblon Mwakitele	1976	Assistant Managing Director KPT (Assistant Regional Director EAPT)		① 良く組織され、テーマも良く選択されている。 ② もう1週間拡大して欲しい。 ③ 日本のセミナーは討論ばかりでなく、講師がいるのが良い。	① 現段階では、ケニアでは機械化は急がないが、作業を容易にする機械装置の採用は必要だ。 ② 日本に対し、書留配達証を少なくとも2台試行ベースで利用させて欲しいことを要請したい。短い試用期間のうちに、KPTは、これらの機械を発注することとする。

ケニヤ・電気通信

No	氏名	研修年次	現職(カッコ内は研修時現職)	研修の効果	セミナーへの意見	その他
1	Mr. Henry Zachariah Edwin Ramogo	1965	General Manager, East African External Telecom Ltd. (Director, EAPT)		<ul style="list-style-type: none"> ① レクチャーだけでは、セミナーに take part in したことになる。open discussion を多くすべきだ。各国の問題点, future plan をききたい。 ② 日本のセミナーは well-conducted であった。 ③ 工場見学は良かった。 	<ul style="list-style-type: none"> ① マイクロ, 衛星通信, digital technics, 国際会計制度の分野で, 協力を得たい。 ② top level のセミナーを開いて欲しい。私が日本のセミナーに参加したのは10年以上も前だ。もう一度, 日本の郵政省, NTT KDD の人たちと討論したい。
2	Mr. Joshua Shidambashi Odanga	1967	Ambassador to India (Director of Posts and Telecommunications Kenya)	(在インド大使に就任のため, 面会不能)		

3. エジプト

(1) JICA エジプト事務所

広谷事務所長から現地事情について詳しいオリエンテーションを受けた。研修員について得た情報を適記すれば、次のとおりである。

- ア) 毎月、7人の研修員に対し、オリエンテーションを行なっている。研修員の最も強い関心事は、日本における生活費の問題である。次に、空港に出迎えがあるかどうかを気にしている者が多い。
- イ) 日本語熱が、盛である。JICA作成の会話のテキストをもっと送って欲しい。あの本は、よく出来ている。
- ウ) オリエンテーション用資料が欲しい。JICA事務所に、研修員用分の General Information を送って欲しい。「集団研修コース概要」は、非常に役立っている。
- エ) カイロ事務所から本部あて、現地新聞等から収集した情報を送っている。活用して欲しい。

(2) 郵政公社

- Mr. Ahmed Shawki El Kiayi : Assistant to the Director of the Organization for Planning, Education and Control
- Mr. Mokhtar El Sabagh : Controller General of Training Schools and Institutions
- Mrs. Laila Said : Chief of Agreement and International Conferences Department

ア) 日本の郵政幹部セミナーの参加者は、多くの利益を受けている。その利益は、当公社にもたらされる。エジプト郵政公社は約50人の職員をサウディアラビアに送り込んでいるが、1976年度のセミナー参加者であった、Mr. Hashem も専門家として派遣されている。

- イ) 日本のセミナーは良く組織され、教育的である。課題、討論方式は良い。事前のサマリー又はテキストの配布は、効果的である。
- ウ) エジプト郵政公社は、日本のセミナーを必要としている。
- エ) 参加者の選考基準としては、65才前であって、英語が出来、かつ、セミナーから有益な情報を得ることが出来る能力を有する幹部職員から選んでいる。
- オ) 今後も、継続してエジプトから招いて欲しい。

カ 日本以外の外国からのエジプトに対する研修状況は、次のとおりである。

- ① オーストラリア 郵便業務 3か月
- ② オランダ ロッテルダムの郵便研修所で、3～6か月、幹部もこの研修に6週間参加する。
- ③ 東 独 郵便業務 3～6か月
幹部 3人 を毎年3週間程度。
- ④ イギリス 窓口業務
- ⑤ フランス 専門家の派遣。 2～3か月派遣し、半年後、1か月派遣、以後、進捗状況に応じ逐次継続する。

(3) 帰国研修員 次表のとおり。

エジプト・郵便

No	氏 名	研修年次	現 職(カッコ内は研修時現職)	研 修 の 効 果	セ ミ ナ ー へ の 意 見	そ の 他
1	Mr. Hussein Ibrahim Khalil Chehab	1968	3年前に退職 (Director of Canal and Eastern Zone)	(退 職)		
2	Mr. Youssef Abdel Chaffar	1972	Arab Postal Union ベースの専門 家として、シリアに派遣中 (Director of Postal Administration for Postal Affairs)	(在 シ リ ア)		
3	Mr. Moustafa Kamal El-Herazy	1974	Director of the BEHERA Governorate Postal Administration (当時も同じ)	(休 暇 中)		
4	Mr. Elsayed Mohamed Hashem	1976	Saudi Arabia へ専門家として派遣中 (Deputy General Director of Supervision and Valuation Sector, Postal Organization of Egypt)	(在サウディ・アラビア)		

エジプト・電気通信

No	氏 名	研修年次	現 職(カッロ内は研修時現職)	研 修 の 効 果	セ ミ ナ ー へ の 意 見	そ の 他
1	Mr. Adel Hassan Sherif	1967	退 職 (Deputy Chairman, Board of Directors, Telecommunications Organization)	(退 職)		
2	Mr. El Fahham Aban Bakr M. Abdellatif	1970	退 職 (Deputy Director General, Telecommunication Organization for Zones)	(退 職)		
3	Mr. Samry Hanna Raheb		退 職 (Zones Director, Telecommunication Organization)	(退 職)		
4	Mr. E. L. Mistikawy		Under Secretary of State and Director of Chairman's Office, Telecommunication Office (Under Secretary of State Telecommunication Organization)	(急病にて面会不能)		

参 考 資 料

1. 調 査 票
2. 面 接 者 リ ス ト
3. エジプト一般事績

(参考資料 1.)

帰国研修員に対する質問書〔幹部用〕

QUESTIONNAIRE (A)

Please write in block letters or typewrite

FULL NAME:

POST :

- 1 1) Please comment on as to how Seminar programmes in Japan have influenced your participants.
 - ii) Please compare our Seminar programmes with those of other foreign countries.
- 2 1) Do you still have needs in your organization for Seminar?
- 3 1) What is your policy or standard in selecting the participants to be sent to Japan?
 - ii) How do you choose the candidates to be sent to Japan?
- 4 Do you have any other problems concerning our Seminar? If so, please describe.

QUESTIONNAIRE (B) [セミナー参加者]

Please write in block letters or typewrite

FULL NAME :

PRESENT POST :

COURSE ATTENDED :

YEAR ATTENDED :

1. Please give us any comments on or suggestions to the Seminar in Japan?
2. Do you have any technical problems in your work? If so, please describe.
3. Compare our programmes with those of other foreign countries. (If you have such an experience)
4. Requests to the Government of Japan.

Do you have any requests to JICA (former OTCA), MPT (Ministry of Posts and Telecommunications), NTT (Nippon Telegraph & Telephone Public Corporation) or KDD (Kokusai Denshin Denwa Co., Ltd.) concerning the Seminar programmes?

(参考資料 2)

面会者リスト

1. ガーナ

氏名	現職
Miss P.B.S. Asante	Asst. Head of TV Programme GHANA BROADCASTING CORPORATION
Mr. J.O. Oturoku	Asst. Econs. Planning Officer Ministry of Economic and Planning
Mr. Osei Bobie	Principal Asst. Secretary Ministry of Economic and Planning
Mrs. P. Ayisi Okyere	Senior Economic Planning Officer Ministry of Economic and Planning
Mr. T. A. Botchway	World Bank Project, Project Manager Posts and Telecommunications Corporation
井口重人氏	日本通信協力株式会社海外事業部
Mr. Peter Bawuah	Director of Engineering Posts and Telecommunications Corporation
Mr. A. L. Bright Davies	Deputy Director of Engineering (Operations) Posts and Telecommunications Corporation
Mr. Jacob Kobina Ackun	Director of Engineering Posts and Telecommunications Corporation
Mr. Joseph Addo	Deputy Director General (Postal) Posts and Telecommunications Corporation
Mr. Benjamin Amonoo Abban	Principal Controller of Posts, Posts and Telecommunications Corporation
Mr. Anthony Oppan Bentil	Chief Controller of Posts (International Postal Services) Posts and Telecommunications Corporation

2. ケ ニ ア

氏 名	現 職
Mr. H. Z. E. Ramogo	General Manager of East African External Telecommunications Ltd.
Mr. J. G. W. Mulindwa	Principal of CTS (Central Training School)
Mr. Elijah Imathiu	Personal Assistant to Managing Director of CTS
Mr. Elly O. Allela	Director of Studies of CTS
Mr. G. M. Ndotto	Assistant Secretary in Charge Financial of Technical Assistance from Japan Ministry of Finance and Economic Planning
Mr. Nehemiah Mutsalali Mudeshi	Postal Controller Kenya Posts and Telecommunications Corporation
Mr. Zablon Mwakitale	Assistant Regional Director Kenya Posts and Telecommunications Corporation

3. エジプト

氏 名	現 職
AMB. Shawki El Hadidi	Ambassador Cultural Relations and Technical Cooperation Department, Ministry of Foreign Affairs
Mrs. Itedal Mousa	Chief of Asian Section, Ministry of Foreign Affairs
Mr. Kamal El Din Faizi	President of Postal Organization
Mr. Hassan El Garen	Under-Secretary of State for Postal Affairs, Postal Organization
Mr. Ahmed Shawki El Kiayi	Assistant to the Director of the Organization for Planning, Education and Control of Postal Organization
Mr. Mokhtar El Sabagh	Controller General of Training, Schools and Institutions of Postal Organization
Mrs. Laila Said	Chief of Agreement and International Conferences Department of Postal Organization
Mrs. Salwa Abbas	Interpreter, Staff in the International Agreement and Congress of Postal Organization
Mr. Hassan Nassen	Controller General of Security of Postal Organization
Mr. Abdel Wehab El Arby	Public Relations of Postal Organization
Mr. M. Aakef	Under Secretary of State Traffic and Telegraph Department of State Telecommunication Organization
Mr. Ahmed Nassond	Chief of Organization of Postal Traffic Center of Alexandria
Mr. Abdel Monem Abdel Aal	Chief of Training of Postal Traffic Center of Alexandria
Mr. Badr Hassan Hamza	Controller General of Region Alexandria of Postal Traffic Center

(参考資料 3)

エジプト一般事情

(JICA カイロ事務所等で聴取した事項)

- エジプトの面積は約100万平方キロメートルで、日本の3倍あり、その95%が砂漠である。
人口は3800万人で、人口密度は、1平方キロメートル当り、2.5万人である。アラブ諸国の中で、エジプト、トルコ、イランが人口3,000万を越えている。
GNPは280ドル、人口増加率は2.5%である。
- 水道、交通、住宅、電話等すべてが老朽化しており、インフラ整備が急務である。産業再配置計画、新都市計画が急がれている。
 - ① 農 業 GDP 31% 就業率 47%
 - ② 工 業 GDP 22% 就業率 13%
 - ③ サービス部門 GDP 28% 就業率 22%
(運輸、通信で働いている人は、49万人である。)
 - ④ そ の 他 GDP 19% 就業率 18%
- 経済開発の主要な阻害要因となっているものをあげれば、次のとおりである。
 - ① 国防費の負担が大きい。 56%
 - ② 外貨の不足
 - ③ 対外債務
- 来年度計画
 - ① 国際収支の赤字解消
税制の改正、スエズ運河の増収、観光収入、石油収入、外国(サウジアラビア、クウェート、アブダビ等)の出稼からの送金(貯蓄)、これは国内貯蓄高の半分(約5億)を占めている。
 - ② 管理経済による経済効率の低下
経済自由化の促進
 - ③ アラブ諸国への移住
- この国は、地理的には、東西南北を結ぶ要となっており、人的資源が豊富であり、かつ、教育水準が高い。
- 当面の課題
 - ① 行政事務の能率化
 - ② public sectorの合理化とprivate sectorの育成、つまり国営から民営への移管
 - ③ 教育制度の改善、とくに、技術系要員の養成、職業訓練の充実
 - ④ 雇傭機会の増大

人口に対する man power の比 27%
(先進国では 50%)

- ⑥ 工業化の推進
- ⑥ 輸出産業の振興
フリーゾーンの活用
- ⑦ アラブ諸国との統一経済をめざすため、約20か国が定期的に集まり、
共同市場(関税、資本の自由な移動をめざす)を考えている。

通信関係の予算

電話網2.5か年計画(今年度から開始)

回線 21,000
交換機 90
セミ自動交換機 20
電話申請件数 78,000
(1年半~2年で解消)

外国からの援助

フランスとの協定

19,000回線
カイロ南部とデルタ地帯に wireless transmission
研修情報センターの設置(電話を中心)
専門家派遣
研修員の受入れ

郵便事情

東京からカイロへ 5日間
カイロから東京へ 10日
カイロからアレクサンドリア 1週間

